たいよう

発　行　所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

最前線レポート

工事件名
令和二年度　国補河川災害
復旧助成工事（一年災）

発注者
長野県佐久建設事務所

請負者
株式会社　木下組

工事場所
長野県佐久市石神滑津川

工事概要
滑津川　右岸側（六一〇ｍ）
左岸側（四九八ｍ）
築堤盛土工事
回転式破砕混合工法
（ＴＭ二二五〇）
改良土改良土製造量(盛土材)
Ｖ＝二二六六〇㎥

本工事は、令和元年に発生した台風一九号による堤防決壊の復旧工事です。

今回の工事は二期目になり、一期目は令和三年の三月から五月に施工を行いました。

令和元年に災害が発生し、今年まで復旧工事があるということは、「災害の少ない街」を標榜としてきた長野県佐久市にとっては、相当な被害だったと感じられます。

その中で一期目に続き二期目も採用された回転式破砕混合工法ですが、特徴として簡単に説明しますと、そのままでは使用できない建設発生土や廃棄物処理をしていた発生土をリサイクルでき、また二種類から三種類の発生土を破砕と混合を同時に行うとともに、添加材は分散して均質に混合することができます。そのため高品質な改良土を製造することが可能であるとされます。

二期目となる今回の工事でも一期目と同様に、二材一添加で母材の礫質土と粘性土に加え、生石灰を添加し改良土を製造しました。

前回の混合割合は礫質土六、粘性土四、生石灰三六ｋｇ／㎥でしたが、今回は母材も変わったため礫質土七、粘性土三、生石灰三二ｋｇ／㎥の割合で製造しました。

礫質土は変わりませんでしたが、粘性土が一期目で使用した材料がなかったため、今回は採石工場などで発生する廃棄物（いわゆる砕石の削りカス）を使用し、見た目はシルトに近い材料でした。

そのため前回、問題となっていた粘性土供給機で粘性土内の礫による過負荷でプラント停止、粘性土の粘性が強すぎて土塊のまま落ちるといった問題はほぼ無くなりました。

しかし、砕石プラントシルト材を使用するのにも問題があり、乾燥すると極端にサラサラになり粘性土の混合割合が３ではなく、それよりも多くなってしまうことが問題となりました。

そこで粘性土供給機の二軸の切削羽を前回のような切る羽ではなく、今回は観音開きのように横に羽を付け、サラサラでも落ちにくく、尚且つ量が調整できるように取り付けたことで解決できました。

さらに今回は礫質土の礫が多くツイスター本体の過負荷でプラント停止してしまうこともあり、事前に礫をガラパゴス破砕機で礫径一〇〇ｍｍ以下にはしているのですが、礫が多く本体に入ってしまうと、過負荷が起こってしまいます。撹拌の速度を三五〇ｒｐｍから四〇〇ｒｐｍに調整してなるべく停止する回数を減らし工程に支障がないよう、回避できました。

母材が変わり改良土の品質はどうなのか心配になりましたが、品質項目である粒度曲線範囲の（一五％≦Ｆｃ≦五〇％）内及び、コーン指数ｑｃ＝一二〇〇ＫＮ／㎡以上は確保できたので良質な改良土になりました。

さらに今まで採石工場で廃棄していたプラントシルトでも良質改良土ができるためリサイクル性の向上・事業コストの縮減ができこれから盛土材製造工事での使用が増えていくと思います。

今回は大きなトラブルもなく比較的スムーズに終われたと思いますが、まだまだ問題点は多いのかなと思います。

母材が変わることで問題が発生しましたが、迅速な対処をしていただいた協力業者の皆様、また問題に対して御理解と発注者様への対応をしていただいた(株)木下組様のおかげで無事故・無災害で施工完了できました。

誠に有り難うございました。紙面をお借りしお礼申し上げます。

長野支店
工事部　祢津　竜太

声援

今年も早いもので初夏を迎え、関東甲信地方は西日本地区より早い梅雨入りとなりました。気温・湿度共に高くなってきますので、早めの熱中症対策を行い体調管理に気を付け、じめじめとした梅雨、またその後に訪れる夏本番を元気に乗り切って行きましょう。

さて、新型コロナウイルス感染症は未だ完全には収束していませんが、Ｗｉｔｈコロナと言われる様に、感染症対策を行いながらの社会経済活動も徐々に活発化してきています。その一つとして、つい先日入国制限緩和による外国人観光客の受け入れが始まる等ポジティブな出来事があった一方で、コロナ禍と入れ替わる様にロシアによるウクライナへの軍事侵攻という戦禍が起こり、開始から一〇〇日以上過ぎた現在も続き、長期化する様相を見せています。侵攻に対し日米欧各国による対ロシア経済制裁が発動され、その影響により原油価格を始め、原材料価格の高騰で様々な物の価格高騰に波及し、生産性や景気への影響が深刻化しています。侵攻を受けているウクライナでは大きな犠牲が出ており、一日も早いこの悲惨な戦禍の終結を願うばかりです。

私たちに於いては、社会情勢にアンテナを張りつつもそれを冷静にとらえ、地に足がついた活動を地道に行っていく事が重要だと思います。会社あってこその私たちの生活ですので会社を継続させていくためにやるべき事をやる。故豊住顧問のご指導に「会社は継続しなくてはなりません。しかし、ただ続ければ良いか、それでは働き甲斐も生まれません。やはり繁栄させなくては『働いて良かったといえる職場づくり』も『社会に存在価値のある職場づくり』もできません。」とあります。繁栄の中にこそ、太洋の経営理念である働き甲斐と社会に存在価値のある会社にできるのだと教えられました。しかし繁栄と一言で言っても、それを実現させる事は容易ではありません。受注・完工・収益の目標は、全社員各自の立場での頑張りがあってこそ達成できるものだと思います。その結果が経営理念にある職場づくりにつながり、それが会社の魅力となり、次代を担う人材へとつながっていくのだと思います。

最後になりますが、今月は全国安全週間の準備月間です。今年度のスローガンは「安全は急がず焦らず怠らず」です。非常にわかり易く安全にとって非常に大事なスローガンとなっています。このスローガンを根本に本日より無事故・無災害、そして健康第一で日々の業務に励んでいきましょう！

ご安全に！

東京支店
副支店長　鍋嶋　直樹

創業者　豊住　満儀　お別れの会

弊社創業者故豊住満儀お別れの会が去る令和四年五月一四日一一時より、名鉄グランドホテルで執り行われました。

当日は遠方の方を含めて約三五〇名の方にご参会いただき、厚く御礼申し上げます。

また、公明党愛知県本部代表、衆議院議員、伊藤渉様にはご多用中の所ご挨拶を賜り誠にありがとうございました。

たくさんのお花で多くの方に見送られ、故人もさぞかし喜んでいることと思います。

祭壇の写真はやさしい笑顔でしたが、会社ではいつも厳しい顔をされていました。仕事では入社以来厳しく指導され、よく叱責を受けました。いま思えば当時の激励が今の私を支えている気がします。

経営上重要な判断をする際はいつも豊住顧問に相談していましたので、相談できる方が逝去され寂しい限りです。

業務上多くの会議がある中、いつも豊住顧問からメッセージを頂いており、会議の目的や参加者に向けた類まれな文章は、いつも読みやすく説得力のあるものでした。

それだけではなく顧問はよく行間を読め、と言われていました。

書いた人の思いをくみ取り、理解し、推し量ってこそ一人前と指導されている気がします。

顧問の一番好きだったところは、笑顔です。創業祭やイベントの時に時折見せる子供のような笑顔が大好きでした。

顧問の凄かった所はたくさんありますが、その中で私が一番凄いと思ったのは洞察力です。人をよく見ていました。人を単に見るのではなく性格を見抜いていたように思います。天性の才能と言ってしまえばそれまでですが、会社を創業され多くの苦労をされた経験がそうさせたのではないかと思います。一言でいえば並みの人ではありませんでした。

細かな気配りをよくされていて、顧問に頼まれたら仕方ないか、と思う方も多くお見えのことと思います。

顧問は、利益だけを追求するのが会社ではない、会社は地域の中にある、地域社会に貢献することが大切だ、とよく言われておりました。

私同様、顧問からしっかりと鍛えられた取締役と執行役員が周りにいます。

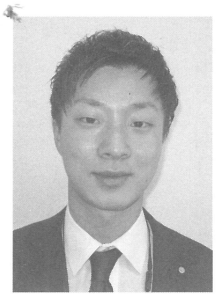
役員一同で経営のかじを取り、職員、職域の仲間とともに、経営理念である働いて良かったといえる職場づくり、社会に存在価値のある職場づくりを目指し、経営スローガンである建設で拓く豊かな都市づくり、職域で自己を磨く人こそ建設人を行動指針とし、成熟企業百年企業への組織作りへと事業継承してまいります。

豊住顧問の遺志を受け継ぎ太洋を守り発展させて行くのが報恩の道と誓い、ご冥福をお祈り申し上げます。

豊住顧問、大変お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

代表取締役社長
加藤　行正

新入社員紹介



皆様初めまして。この度、大阪支店工事部に配属になりました金川聖志と申します。

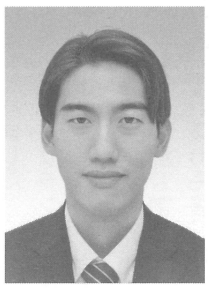
入社式の際に、加藤社長はじめ多くの役員の方々から辞令と激励のお言葉をいただきました。そのことで私も太洋基礎工業の一員ということに自覚をより一層持つことができ、また大きな期待をされていることを実感しました。

研修では会社の成り立ちや会社の強み、様々な工法について学ぶことができました。二日目では神守研究開発センターがどのようなことをしているのか説明や場内見学、また現場先での安全に努めるために声がけの重要性について安全講話を受けました。その後実際の現場を二カ所見学させていただきました。

この二日間で多くのことを学ぶことができました。これらのことを踏まえて、これから多くの経験を積んで一つ一つのことを正確に理解し、一日でも早く仕事内容を覚えたいと思います。また、配属先の大阪支店の職員や現場先でお世話になるお客様、協力会社様とコミュニケーションを大切に積極的に行うことを心掛けて早く馴染めるように努めたいと思います。

これから多くのことでご迷惑をかけると思いますが何卒宜しくお願い致します。

大阪支店　工事部
金川　聖志

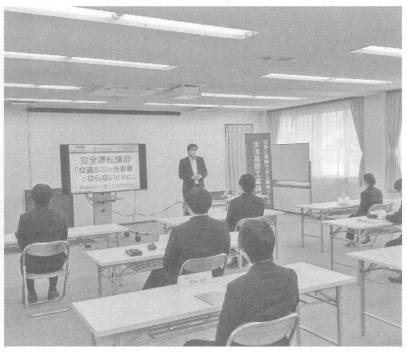


皆様初めまして。この度、九州支店工事部に配属になりました井藤　優貴と申します。

四月一日に行われました入社式には、発熱により参加が叶いませんでした。後日、九州支店にて加藤常務より激励のお言葉を頂きました。その際に、社会人としての自覚を持ち、仕事に励むことで期待に応じなければならないと実感しました。

大学で学んだ専門分野とは少し異なるため、先輩方には多くの質問をするかもしれませんが、これから一日でも早く知識や経験を積み上げることで、会社に貢献していきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

九州支店　工事部
井藤　優貴



名古屋未来環境ＥＸＰＯ２０２２

㈱環境新聞社主催、名古屋市共催の名古屋未来環境ＥＸＰＯ２０２２に出展しました。本展示会は、リアルとオンラインのハイブリット開催で、リアル開催は令和四年五月一二日～一四日の三日間、オンラインは令和四年三月一五日～六月三〇日までの開催となっております。当初は二〇二〇年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、二年越しでの開催となりました。

本展示会は美しさと感動をテーマとし、将来のサステナブル（持続可能な）ライフスタイルを追求するものです。テーマである美しさと感動は、「日本に昔からある伝統的な衣食住に関わる商品・製品には、持続可能な生活の知恵が込められており、その根底には美しさがあり、その美しさに感動して未来のライフスタイルが確立する」という考えから来ているそうです。

当社の出展内容としては、持続可能な経済の中で「健康安全都市を目指すための製品・技術」を選定し、地盤・土壌環境に対する技術と言う事で液状化対策に用いるハイグリップグラウト工法、土壌汚染対策工事に用いる各種工法（ＴＲＤ工法、鉄粉気泡工法、機械撹拌工法等）、当社も会員である一般社団法人土壌環境保全技術協会の技術・製品を展示しました。本展示会は第一回目であることと、新型コロナの影響もあり来場者数が少なく、若干寂しいところもありましたが、各種工法及び当社のＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）達成に向けた取組についてＰＲできたと思います。

当社の経営理念である「働いて良かったと言える職場づくり」、「社会に存在価値のある職場づくり」の実現を目指し、様々な活動を行うことで、サステナブル（持続可能な）ライフスタイルが確立するのではないかと感じました。

最後になりますが、当社ブースにお越し頂きましたお客様には紙面をお借りしてお礼申し上げます。

名古屋支店　環境開発部
部長　柴田　久則

お知らせ

昨今では少子高齢化、労働者の減少を背景に女性や高齢者、障がい者など多様な（ダイバーシティ）人材の労働力が必要な時代になっております。

出産・育児を理由に離職する女性が多く、女性が十分に力を発揮しにくい労働環境を是正するため、二〇一六年四月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」という法律が施行されています。職業生活における女性の活躍に関し、女性活躍推進法では大きく以下の三つ

㈠　女性に対する採用や昇進の機会を積極的に提供すること

㈡　職業生活と家庭生活を両立させるために必要な環境を整備すること

㈢　職業生活と家庭生活の両立は本人の意思が尊重されることを基本原則としています。

この女性活躍推進法は、法改正により、二〇二二年四月一日から一〇一人以上の従業員を雇用する企業は、社内で女性活躍を進めるための目標設定や具体的な取り組み「一般事業主行動計画」を策定し、都道府県労働局に届出、公表、従業員への周知が義務づけられています。

そこで今回、全ての社員がその能力を発揮できるような雇用環境の整備を行うとともに、女性職員が活躍する社会に貢献するための行動計画を策定し、厚生労働省の愛知労働局雇用均等室に提出しました。計画期間、目標については次の通りです。

計画期間
令和四年四月一日～
令和七年三月三一日

目標
新規採用において女性労働者増員を目指します。採用ページやパンフレットなどで活躍している女性職員を積極的に紹介し、新卒者のうち女性採用比率一割以上達成を目指します

以上の計画目標を三年間で実施していきます。

管理本部　総務部
小﨑　賢

健康だより

そろそろ雨の季節です。雨の日は洗濯物も乾かないし、ジメジメと蒸し暑い日々が続きます。

春先に健康診断を受診した方は結果がお手元に届く時期なのではないでしょうか。今回は肝臓の検査についてお話します。

肝臓の働きは大きく分けて三つの働きがあります。

①代謝…食べた魚や肉をカラダに吸収されやすい形に変え、貯蔵し必要な時にエネルギーとして供給します。お酒の飲みすぎや肥満などで、自分の肝臓の代謝能力以上の栄養をとると余ったエネルギーが脂肪となり肝臓にたまります。「脂肪肝」の出来上がりです。

②解毒作用…アルコールやたばこに含まれるニコチン、薬物などを分解してカラダに影響のないものに変えます。例えば、お酒を飲み過ぎると「解毒作用」が追い付かずに肝臓に大きな負担をかけることになります。

③胆汁の生成・分泌…脂肪の消化吸収を助ける胆汁を作ります。

体の中でも肝臓は大事な部分です。血液検査で肝臓の状態が分かる代表的なものが「AST」「ALT」「γ-GTP」です。これらは肝臓で働く酵素です。「AST」は肝臓や筋肉、赤血球の中に存在します。肝臓の病気だけでなく、心臓の病気でも異常値が出ます。「ALT」は主に肝臓に多く含まれます。この数値が高いということは肝臓の状態が悪いということでもあります。「γ-GTP」はアルコールの影響を受けやすく、お酒の飲み過ぎや肥満などで異常値が出ます。また、血液検査だけでなく、超音波検査やＣＴなど肝臓の状態を画像で見る検査もあります。最近は人間ドックなどでも受けることができるので機会があればぜひ一度、受けてみてください。

これからが梅雨本番。スッキリしない季節ですが体調はスッキリと。しっかり食べて、しっかり寝て、体調を整えて乗り切りましょう。

そろそろ雨の季節です。雨の日梅雨本番。スッキリしない季節ですが体調はスッキリと。しっかり食べて、しっかり寝て、体調を整えて乗り切りましょう。

公衆保健協会
検査室だより

社長室だより　月間ＭＶＰ賞

受賞者
東京支店　営業部
部長　名和　義恭　殿
東京支店　工事部
副部長　加藤　康徳　殿

西武建設(株)様の安全衛生表彰式で会社表彰を頂きました。石神井川整備工事（その一六三）において、営業・工事担当者が一体となって安全衛生管理に取り組み、無事故・無災害で完工したことが高く評価されたものと思います。今後も他の模範となることを期待し月間ＭＶＰ賞に推薦します。

推薦者
東京支店
支店長　前田　哲良

月間ＭＶＰ賞は当社職員だけでなく協力会社の皆様も表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者がでることを期待しています。

代表取締役社長
加藤　行正